

常陸大宮市教育委員会 12月定例会議事録

- 1 会議の名称 常陸大宮市教育委員会 12月定例会
- 2 開催日 令和2年12月25日(月) 午前10時00分から
午前11時35分まで
- 3 開催場所 常陸大宮市役所 行政委員会室
- 4 出席者
 - (1) 教育長 茅根 正憲
 - 委員 諸澤 信子
 - 委員 生天目 茂
 - 委員 橋本 勇夫
 - (2) 事務局及び説明者
 - 教育部長 大町 隆
 - 次長兼学校教育課長 諸澤 正行
 - 生涯学習課長 木村 隆弘
 - 文化スポーツ課長 石井 聖子
 - 指導室長 関 美智子
 - 指導主事 関 好美
 - 学校教育課課長補佐 森田 浩行
 - 学校教育課主任 野上 幸恵
- 5 報告
 - 報告第40号 教育長報告について
 - 報告第41号 令和2年第4回常陸大宮市議会定例会一般質問について
 - 報告第42号 指定学校の変更許可について
 - 報告第43号 令和2年度就学援助申請に伴う児童生徒の認定結果について
- 6 議案
 - 議案第53号 スポーツ推進委員の解職について
- 7 協議
 - 協議事項13 令和2年度総合教育会議について
 - 協議事項14 常陸大宮市義務教育施設適正配置審議会について
- 8 その他
 - (1) 各種行事予定について

学校教育課
生涯学習課
文化スポーツ課

(2) その他

9 次回の定例会日程について

10 閉 会

11 傍聴人の人数 なし

12 会議の概要

茅根教育長 本日の欠席者は1名です。定員数に達していますので、ただ今より、常陸大宮市教育委員会12月定例会を開会いたします。

(午前10時00分開会)

茅根教育長 本日の議事録署名人の指名を行います。議事録署名人に諸澤信子委員を指名いたします。

本日の会議日程は、お配りした会議資料のとおりです。

それでは議事に入ります。

はじめに、「日程2報告」を議題といたします。報告第40号教育長報告となりますので、私の方から2つほどお話ししたいと思います。

昨日ですね、12月24日で2学期が終了いたしました。どの学校も大きな問題がなく終了したという報告を受けております。昨年は、12月にインフルエンザ等で学級閉鎖をした学校がいくつかあったんですが、今年はですね、感染症予防をしっかり行っていることから、今年はインフルエンザの流行は起きておりません。また、新型コロナウイルス感染症に関しましては、児童生徒の感染も、8月の1名のみでありましたが、学校の臨時休業の措置を取らなくて済みました。

2番目としましては、教職員の現段階の人事関係でございますが、定年退職者は、校長5名、教頭4名、教諭は事務員を含めて11名であります。勸奨退職者は一般教諭2名になっております。

以上でございます。よろしく申し上げます。

この件につきまして、何かございますでしょうか？

よろしいでしょうか？

それでは、続きまして、報告第41号令和2年第4回常陸大宮市議会定例会一般質問について、私の方から説明をいたします。

茅根教育長 【報告第41号について説明】

以上でございます。議会報告と一般質問について、何かございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか？

生天目委員 いいですか？

茅根教育長 はい。どうぞ。

生天目委員 質問の中に、境町の例を取り上げた例があるんですけど、誰でしたかね？

茅根教育長 はい。吉川議員です。

生天目委員 要は、境町のようなものを取り入れろっていう方向での考えをお持ちなのかな？ただ見解を聞いただけかな？

茅根教育長 これは、やっぱりある程度、そういう方向どうなんでしょうかっていうことでしょうね。

生天目委員 質問者が何かそういう意図があるのかどうか。

茅根教育長 境町についてはね、説明しました、文科省の指定を受けていますので、それでやっているんですがね。もちろん、英語の教育は大事ですよ。もう教科になりましたから。本市としても、その辺十分、鑑みながらやっていきたいと思っているんですが。

他にいかがでしょうか？

橋本委員 いいですか？

茅根教育長 はい。どうぞ。

橋本委員 先ほど、不登校の話が出たんですけど、久々に不登校って言葉を聞いたんですけども。野口に支援センターがあると思うんですけども。いろんな顔、形で、確かにそのインターネット的な方法もあるかと思うんですけど、少し、不登校の人数とか、そういうのもちょっと知りたいなって気がしたんですけど、データでも、もしあれば。お聞きしたいなと思ひまして。

茅根教育長 じゃあ、これ、次回でいいですか？

橋本委員 はい。

茅根教育長 令和2年度の。

橋本委員 そうですね。あと、どんな方法でっていうのも。少しこう。今までの、私なんかを持っている支援センターで担当してるのと、また、色んな地区で、広島なんかのいろんな例が、今、マスコミでも大分あがってきている中に、不登校がかなり解消したっていう例があったもんですから。そういうのも含めて、人数とか方法も、その学習に限らず、解消するための、みたいな話し合い的なものがあってもいいのかなって気がするもんですから。

茅根教育長 これは、次回でいいですね？

橋本委員 はい。次回でも、その次でも。今回は、時間があまりなさそうなので。その辺は慌てずに。

茅根教育長 支援センターもなかなかね。大変なようです。

生天目委員 じゃあ、1ついいですか？

茅根教育長 はい。

生天目委員 支援センター、前のときもお話ししたんですけど、御前山の旧野口小の方にいってるんですけど、あれを戻すって意向はないのかどうか。つまり、家族のためには、あまりにも地理的に不便で、一番不登校が多い地域の近くがいいんじゃないかなって気がするんですよね。以前はそういう施設がなかったんで、止むなくいったっていう経緯があるんですけど。

茅根教育長 多分、最初の出だしの時に、野中のあそこを借りてたんだよね。

生天目委員 ずっと借りてたの。

茅根教育長 それから向こうに移ったんですよね。だから、今の委員さんの意見も分かるんですけど、中には、見られないからいいって親もいるんだよね。あまりそんな中心のところに来るよりは、離れているでしょ？だから、見えないからいいって親もいるんですよ。

生天目委員 そういうのもあるんだろうけど。

茅根教育長 ええ。あまりこう、見られたくないっていうのも。いるんですがね。あとは、相談員もね、できる限りやっていますので。

生天目委員 まあ、私なんかはね、割と距離的には近くて、隠れ家的なところがいいなどは思っているんです。確かに、行くの、現実には、どっちが多いか分かんないけど、あんまり遠くて行けないっていうのもいるんだと思うんですよ。まあ、それは、今後の課題にしてもらえばいいかなと。どっちがいいかは、今断言できないから。資料がないしね。

橋本委員 というのは、あと、地域性もそうですけど、その中で活動内容的なものも、大分、いろんな面で、いろんな方法があると思うんで、その辺りの内容的なものもね、考えてもいいのかなって気もしたものですから。その時期に、提案されたときに、そういう話し合いができるといいと思います。

茅根教育長 児童生徒によっては、その、小学校が多いのかな。旧野口小の体育館で、ゲームしたり、そういう活動もやってるみたいですよ。そういう感じのも一通り聞いてます。

生天目委員 学校で交流してるっていうのはいいと思うんだよね。

茅根教育長 そうですね。まあ、それは後で。お話ししたいと思います。

その辺でよろしいでしょうか？

生天目委員 はい。

橋本委員 ありがとうございます。

茅根教育長 では、次に移ります。

ここで皆様にお諮りいたします。この後の案件、報告第42号及び報告第43号につきましては、個人情報に関する内容が含まれております。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第14条第7項のただし書きの規定により、人事に関する事件その他の事件については、教育長又は委員の発議により、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、会議を公開しないことになっています。

つきましては、個人情報保護の観点から、会議を非公開にしたいと思いますが、賛成の委員の挙手を求めます。

(委員全員 挙手)

茅根教育長 全員挙手ですので、この後の案件につきましては、非公開といたします。

それでは、会議日程に戻ります。報告第42号指定学校の変更許可について、事務局の説明をお願いします。

諸澤次長兼学校教育課長 【報告第42号について説明】

茅根教育長 説明が終わりましたので、質問等があればお受けします。いかがでしょうか？

生天目委員 止むを得ないけど、祖父宅っていいながら、距離もやったら遠いのがあったと思うんだけどね。トラブルがなければいいけど。微妙だよな。

茅根教育長 では、よろしいでしょうか？

ないようですので、次に移ります。

続きまして、報告第43号令和2年度就学援助申請に伴う児童生徒の認定結果について、事務局の説明をお願いします。

諸澤次長兼学校教育課長 【報告第43号について説明】

茅根教育長 説明が終わりましたので、質問等があればお受けいたします。いかがで

しょうか？

よろしいですか？

では、続きまして、「日程3議案」に入ります。

議案第53号スポーツ推進委員の解職についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

石井文化スポーツ課長 【議案第53号について提案・説明】

茅根教育長 説明が終わりましたので、質問があればお願いします。

ないようですので、採決に移ります。

議案第53号につきましては、原案のとおり可決することよろしいでしょうか。

各委員 <異議なし>

茅根教育長 異議なしと認め、議案第53号につきましては、原案のとおり可決いたします。

続きまして、「日程4協議」に移ります。

協議事項13令和2年度総合教育会議についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

諸澤次長兼学校教育課長 【協議事項13（全国学力・学習状況調査）について説明】

関指導主事 【協議事項13（全国学力・学習状況調査）について説明】

茅根教育長 今、説明がありましたが、学力テストの公表の仕方ですよ。いかがでしょうか？

生天目委員 確認したいんですけど。

茅根教育長 はい。どうぞ。

生天目委員 やっぱこれは、指導改善のためのテストなので、そこがちょっと忘れられると困るんで、指導改善のためのテストっていうことで実施してて、それを地域とか保護者が、本当に要求してるのか、欲してるのか。つまり、指導改善は、

保護者、地域ではやらないでしょ？やっぱり教員でしょ？学校でやることなので、今まではそういう意味で公表していないんですよね。公表していないということで、まずいということであれば、なぜまずいのか、で、それはどのくらいのものを公表するかっていう話になると思うんですね。何かこう、公表ありきで採取しているような気がしている気がするんだけど、一般の人に、ぼっと出したときに、やっぱり煽りませんか？競争心なり、うちの市は、うちの学校は、っていうことを、煽らないのかな？その辺を踏まえていけば、公表するにしても、全面公表はどうかなって気はするんだよね。あとは、どの段階の公表にするか。あくまでも、そういうのを必要とするんならば、少しこう、抑えた形で、刺激を抑えた形で、公表したいなって気はするんですけどね。私の考えなんですけど。まあ、公表したから駄目かって言われると、別に恥ずかしくも何もないんで、公表してもいいんですけど。うーん。ただ、公表合戦みたいになっちゃうと、どうかな。で、さっきの市町村見ても、公表してるところは、いいところなんですよ。いいから、示したいんですよね。あまりにもそれに乗っかる必要はないのかな。で、他の公表しないところは、その目的の本来の趣旨に沿ってる市町村なんです。あの、どっかの静岡県の知事みたいに、自分の県が悪かったら、その学校の校長の予算を減らすとか。

橋本委員　　ありましたよね。

生天目委員　　ね。ああいう、知事さんの考えが出てくるようなところも出てきちゃう。それくらい煽るようなものなんです。だから、そこは少し慎重に検討したいなという気がするの、私の考えです。

茅根教育長　　確かにね。はい。

生天目委員　　一般の人は、分からないから、数字でだけでいくと思うんだよね。

茅根教育長　　橋本さんいかがでしょうか？

橋本委員　　先ほどの説明にもあったんですけども、やはり公表するときに、成績が

良ければいいですけど、地域性とかいろいろありますから、その中で点数が独り歩きしてしまうために、学校評価的な、マイナス思考に走りやすい。ただ、保護者からすると、まあ、こういう試験をやっていますから、知りたいって意見もあると思うんです。ただ、先ほど生天目さんが言うように、公表の仕方ですよ。何らかの形では伝えなきゃならないと思うんですけども、その方法あたりをこう、具体的な資料とかそういうところで進められれば、公表も、と思うんですが。

生天目委員 数字を公表するのであれば、市全体のような形でするしかないよね。

橋本委員 点数的には、現職の頃に、数字的なもの、特に小学校の時あたりは、自分の学級、学年を気にしてたんですけど。その、力を入れるとか、そういうのもあるんですけど、小規模校のために、その内容よりも、その子ども達の実態がずっとこう。9年間の流れの中っていうと、かなりその差があっても、その平均ってなってしまうと、点数的なものからすると、なかなかその、教育の方向とか、努力だけでは語れない点数の差って出てきてしまうんですよ。

茅根教育長 ありますね。

橋本委員 ええ。ですから、その辺は、点数だけ出してしまうと、なかなか分かりづらいところがあるのかなと思うんですけど。

茅根教育長 そうですね。確かに、ありますね。

一応、いろいろございましたので、その辺の教育委員さんのお考えを、総合教育会議では出していただければと思っております。よろしくどうぞお願いいたします。

諸澤次長兼学校教育課長 【協議事項13（GIGAスクール）について説明】

茅根教育長 2つ目のGIGAスクール構想について、説明がありましたが、いかがでしょうか？

生天目委員 これは、進めていくっていうのは、間違った方向ではないし、今の中では必要なものだし。だけど、究極的には対面だと思う。補助的な、一時的なもの

にはいいような気がするんだけど。これ、すごい額のお金かかるね。

諸澤次長兼学校教育課長 端末の方では、予算額3億1,036万9千円、それから、周辺機器としましては7,959万6千円ということで、合わせますと4億近い金額がかかってきます。

生天目委員 そうだね。

橋本委員 これもあれですよ。1人1人の端末は、タブレット的なものは、新しい教科書の方も、かなり、資料の方で、教科書との連携っていうのが、今すごく進んでいるんですよ。前回、提示した教科書等についても。ですから、端末を使っている発展的なものは、かなり上がると思っているんですが、この遠隔学習機能は、第3次、今度のコロナとか、臨時休校とかに対応できるっていうのが、これ右の、遠隔学習時期なものだとすると、まあ、これから多少なりとも、下火になって、通常の登校ができるようになってきたとなると、この辺りはどの程度の活用があるのかなと、ちょっと私なんかは分かんないんですけど、どうなんでしょうかね？

諸澤次長兼学校教育課長 そうですね。学校登校が始まれば、そういった活用も少なくなってくる部分もあるかと思うんですけども、こういった遠隔学習、家庭学習ですと、家庭でやった子どもの学習状況が、その部分は、先生の方に直接データが流れてきて、今やっているかどうかっていうのが、そういったのも全部集約できるってことでありますので、そういった部分はあるんですが。もし、遠隔ができた場合、記事によりますと、不登校生徒ですか。等も、学校に登校できない生徒も、そういったもので授業に向かうことができるんじゃないかって、そういった利便性もいわれておりますので。もちろん、通常の登校している生徒に対しては、そのまま使えるかと思うんですけど、不登校に対しては、そういった活用も、ある側面からみられるんじゃないかなというふうに考えております。

橋本委員 先ほど、それは出てましたよね。不登校に対してっていうのはね。まあ、

登校できない環境の場合にだけなのかなって。そうでもなさそうな気もするんですが。

茅根教育長　あとはタブレットが、各校、子ども達、持ち帰りになれば、そこでホームワークじゃないけど。リンクはできるんですよ。

橋本委員　そうですね。リンクはできますからね。そちらの方が、ひょっとしたら、家庭学習とのっていうのはできるかもしれないですね。ただ、そこまでなってくると、先生方は大変ですよ。勤務時間だ何だって、家庭生活まで、どんなふうな流れになっていくのかとか。その辺を、かなりこう、考えていかないと、ですよ。

諸澤次長兼学校教育課長　今の学習面なんですけども、子どもに合ったドリルの履修ができるっていうことで、この子どもはまだ、仮に図形ができなければ、図形の部分を強くするとか。苦手な部分を、AIの方ですか。コンピュータの人工知能の方でやってくれるというような、そういうのもタブレットではうたっているところもあります。

橋本委員　ソフトの関係もあるでしょうけど。フィードバックして、進めていく。これは今までだって、こういうデジタル化しなくたって、フィードバックは必ずして、そういうのは対面でやってきたものが、機械化されるっていうことですからね。その方が容易く個人に合わせることができる。それは今までも、対面でも何でも、教師はそれを、関先生、やってきたんですよ。

関室長　はい。

生天目委員　ただ、もう、本当にね、コロナのせいなんだけど、これだけ下火にならないで、どんどん増えてきちゃうのが、いつまで続くかわからない生活ね。そうやってきた中で、万が一、また緊急事態がね、宣言されたりすると、それこそ、こういうのがないと、どうしようもなくなっちゃうんだよね。万が一に備えて、今進めているんだと思うんですけど。これは止むを得ない施策だと思うんですね。

あとは、活用の方法については、橋本さんが言ったように、これからいっぱい考えるようだね。実際になってからね。

茅根教育長 活用方法をね。はい。

では、よろしいでしょうか？

それでは、続きまして、協議事項14ですね。常陸大宮市義務教育施設適正配置審議会について、事務局の説明をお願いします。

諸澤次長兼学校教育課長 【協議事項14について説明】

生天目委員 複式はできるだけ避けたいところなんですけれど、地理的な限界っていうのはあるよね。例えば、美和小学校が、これ以上はもう統合するのはできないと思うんです。いずれ。極端な例でいうと。そういうところはそこで、地域の学校としていくしかないと思うんだよね。基本的には、複式は避けたいんですけれど、地理的な限界はあると思うんですよね。これは私の考えですが。多分、審議委員の方にも、そういう考えの人が出るんじゃないかなって気はするんですけどね。

茅根教育長 特に小学校はね、地域の学校っていうのが強いですからね。地域の皆さん。

橋本委員 小規模校のメリットを最大限に活かすしかないような感じがしますよね。

生天目委員 地域には1つは残したいよね。

あとは、いいんじゃないですか。皆さんに議論してもらえば。

橋本委員 そうですね。

茅根教育長 諸澤さん、いかがでしょうか？

諸澤委員 どうすればね。見てるだけで気が滅入ってしまいます。大変ですね。やっぱり、小学校だけは、普通の学校とは違いますよね。抛り所みたいなものがあるから、やっぱり地域的にみても、もう小学校は、どうだろうね。

茅根教育長 今はもうなくなりましたが、地域の人から声聞くのは、塩田小がなく

なったので、地域の火が消えたよね。そういう声が多数出てますよね。そこは、審議会の方の意見をみて、改めて検討となりますね。

よろしいでしょうか？

各委員 はい。

茅根教育長 ないようですので、続きまして、「日程5その他」に移ります。

(1) 各種行事予定について、事務局の説明をお願いします。

諸澤次長兼学校教育課長 [行事予定説明]

木村生涯学習課長 [行事予定説明]

石井文化スポーツ課長 [行事予定説明]

諸澤次長兼学校教育課長 [教育委員の行事予定説明]

茅根教育長 続きまして、(2) その他について、事務局でありましたら、お願いします。

諸澤次長兼学校教育課長 [契約案件報告]

茅根教育長 この件につきまして、何かございましたら、よろしいでしょうか？

それでは、「日程6次回の定例会の日程について」に入ります。

諸澤次長兼学校教育課長 (1月定例会について日程調整)

茅根教育長 それでは、次回定例会は、令和3年1月25日月曜日、午前11時より開催いたします。

それでは、以上をもちまして、常陸大宮市教育委員会12月定例会を閉会いたします。

(閉会：午前11時35分)